

## 四人姉妹と大好きな母

竹田 たけだ 美結愛 みゆきあい

「四人姉妹なんて、うらやましいな。」

私がよく言われる言葉だ。私は四人姉妹の二番目。姉とふたりの妹がいる。

「大変な時もあるけど、楽しいよ。」

私は答えながら、今年の夏休みを思い出した。

母が仕事に行っている間、私たちは四人で留守番をした。午前中は宿題をして、昼になると、母が作っていつてくれる昼食を四人で食べた。夏休みの少し前に、昼食を自分で作りたいと言った私に、

「小さい子達がもう少し大きくなったらね。」

と母は答えた。

「そうだね、火事になったら大変なものね。」

と答えながら、私ばかりした。家庭科で火の使い方を習った私は、料理を作れたかった。けれど、何でも私の真似をしたがる妹達がいるので、母の言う通り、がまんしなくてはいけなかったのだ。母と私達の五人暮らしの大切な家が焼けてなくなってしまったら大変だ。何より、姉や妹たちの命をうばってしまってもいけない。それでも、食べ終わったらすぐに遊びだす妹たちを見て、姉と二人でお茶わんを洗いながらため息が出そうだった。妹たちは、何でも真似をしたがるくせに、片づけだけは真似をしたがらない。

「美結愛ちゃん、よろしくね。」

そう言っ母が仕事に出かけたとなん、妹たちはおにごっこを始める。せつかつたんだ布団を広げ、家中を走り回る。母

はこんな妹たちを見たことはないかもしれない。

「何しているの。」

私が声をかけても、妹たちは知らんぷり。

「しよがないから、片づけよう。」  
姉と二人でもう一度布団をたたみ、部屋を片づける。妹たちはやっぱり知らんぷりだ。

それでも、私は妹たちが大好きだ。けんかをしてしまうこともあるけれど、母がいなくてさみしくなった妹たちが「美結愛ちゃん、一緒にいて。」

と甘えてくると、ぎゅっと抱きしめたくなる。もちろん、姉のことも大好きだ。勉強で分らないところがあると、

「どこが分からないの。」  
とていねいに説明して、教えてくれる。

そして何より、母のことが大好きだ。仕事でどんなに疲れていても、家に帰ると

「美結愛ちゃん、ありがとう。お姉ちゃんがいてくれて本当に助かるわ。」

と笑ってくれる。母が笑ってくれると家中に花が咲いたように明るくなる。母の「ありがとう。」の言葉が、私に元氣と自信をくれる。

だから今度「四人姉妹うらやましいな。」と言われたら、  
「そうでしょう。すごく幸せだよ。」

と母のような笑顔で答えよう。

お母さん、私達四人姉妹をたくさん愛してくれてありがとう。これからも五人で楽しく暮らしていこうね。